

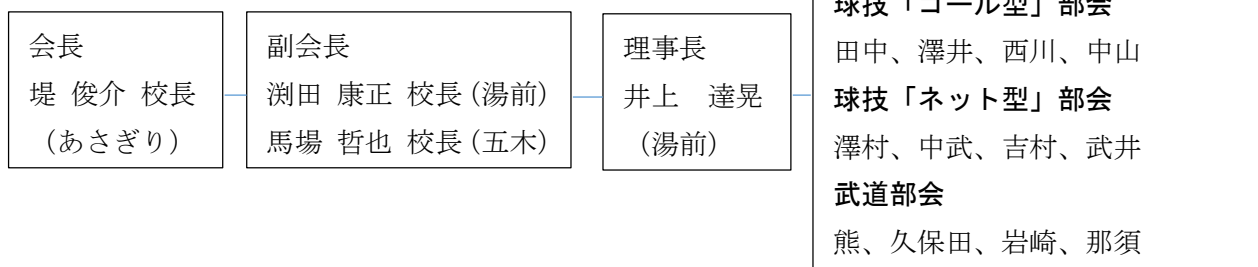
# 人吉球磨中体研

理事長 井上 達晃

## 1 はじめに

今年度の人吉球磨郡市は、堤俊介会長（あさぎり中学校）を中心に12校16名の保健体育科担当で研究を進めてきた。本研究会では、次期学習指導要領への滑らかな移行や、そこから抽出して定めたテーマ「主体的・協働的・対話的な男女共習による学習展開の工夫」に沿った研究を進めてきた。

## 2 研究組織

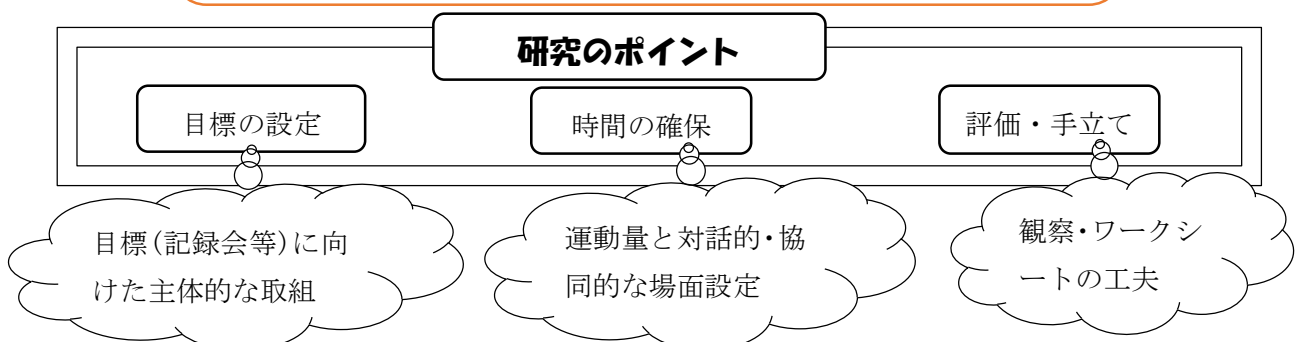


## 3 活動状況

	会議	期日	内容
1	第1回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	6月3日 (月)	研究組織・研究テーマ 本年度の研究内容協議
2	第2回人吉球磨体育研究会 (小中合同)	10月23日 (水)	あさぎり町立あさぎり中学校 「学校体育」研究発表会
3	第3回人吉球磨体育研究会 (中学部会)	1月21日 (火)	夏期研修会復講 実践報告・研究のまとめ

## 4 研究テーマ

＜人吉球磨体育研究会（中学部会）研究テーマ＞  
自ら運動の喜びや楽しさを求め、  
生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ体育学習の在り方  
～主体的・協働的・対話的な男女共習による学習展開の工夫～



## 5 研究の概要

### (1) 4領域のグルーピングからの考察・実践

第1回の研修会で、本会のテーマを決定した後、研究員の人数を考慮して、抽出した4領域（陸上競技、球技「ゴール型」、球技「ネット型」、武道）に絞り、グルーピングした部会を設置した。さらに各グループで話し合い、その領域の単元を1つ選択し、年間を通じて教材研究を行うとともに指導案を作成し、互いの授業を参観して今後の授業改善に活かすことにした。

### (2) 小体研との授業研究会（あさぎり町立あさぎり中学校「学校体育」研究発表会）

☆体育分野「陸上競技（長距離走）」と保健分野「心身の機能の発達と心の健康（心と体のかかわり）」の公開授業

#### 研究発表会における体育に関する取組と中体研のテーマに準じた指導内容

- 1 人との関わりを重視した授業づくり＝（主体的・協働的・対話的な授業展開）
  - 場面に応じた様々な関わり方の設定
- 2 振り返り活動の工夫＝（主体的・協働的・対話的な授業展開）
  - 学習カードやミーティングボード、ICT、「話し合いシナリオ」等の活用

あさぎり中学校の「学校体育」研究発表会の研究主題「心と体の調和のとれた学校体育をめざして～人との関わりを重視した体育・食育・道徳の指導の充実～」に関する取組と、郡市中体研の研究テーマに準じた指導内容に着目し、研究発表会を研究会の場と設定した。体育に関する取組では、授業改善を2つのポイントで示されていた。1つ目は、人との関わりを重視した授業づくりである。人との関わりを持つことが体育（運動）を楽しいと思わせる一助になることは明らかであり、場面に応じた様々な関わり方が設定してあった。2つ目は、振り返り活動の工夫である。主体的・協働的・対話的な様々な形態で振り返り活動がなされており、本研究会としても、非常に有意義な研究の機会となった。

### (3) 夏期研修内容復講 復講者：中山幸明（錦中）、上原拓朗（山江中）

夏季研修会では、「ハンドボール」と「空手道」が実施された。本郡市では、女子ハンドボール世界選手権に関連し、「ハンドボール」での復講を行い、その後は部会毎に分かれ、テーマに沿った展開案の考察を行った。

本郡市でハンドボールを授業で実施している学校は少ないが、復講内容は他の球技種目にも実践できるようなものもあり、有意義な復講となった。

## 6 まとめ

新学習指導要領完全実施に向けた取組が行われており、研究協議会や県中体研の発表などを参考に、各校で確立しつつある。本研修会においては、短い時間ではあったが、各校の実践を共有し、さらに考察することによって、学習指導案の検討や作成などができ、大変有意義であった。次年度は、令和5年度に控えている学体研を見据えた研究に取り組むとともに、小体研や高体研と連携した研修会を計画したいと考えている。